

◇10月23日(第4回)

<協議事項>

1 議員間協議の運用について

議員間協議の目的については、さまざまな議論の着地点を想定し、今の時代に沿うよう全面改正するなど、協議された内容を踏まえ、修正案を作成することとした。

2 袋井市議会傍聴規則等の改定について

近隣市議会との比較検討など、協議を重ねた結果、先進の見直し事例を参考にしながら、最終的な方向性を示すこととした。

3 行政視察について

10/17~10/18における先進市議会行政視察研修を考証した。

◇12月12日(第5回)

<報告事項>

1 議員間協議の運用について(最終案)

目的や対象となる会議、進行など7つの項目を規定した新しい運用方法(案)を作成し、議会運営委員会に提出することとした。

2 袋井市議会傍聴規則等の改定について

掛川市議会で傍聴規則等を改正する動きがあるという情報があり、今回の特別委員会までに確認し、議題として継続させることとした。

<協議事項>

1 通年議会について

京都府亀岡市の例や全国市議会議長会における実態調査結果、また、先進市議会における検討結果などを委員に資料提供し、次回以降、本格的に協議していくこととした。

◇10月8日(第4回)

<報告事項>

1 第2回(8/5)委員会の状況と未回答事項の整理について

収集ごみ、事業系ごみに含まれているリサイクル可能なものをリサイクルすることで、ごみが3分の2に減量できるとの報告があった。

<協議事項>

1 ごみ減量化対策について

家庭系ごみ、事業系ごみ、汚泥における減量化の具体的な対策案の協議を行った。

2 ステーション方式の導入について

自治会等の立ち合いなどの負担軽減や市民の利便性を図るため、固定型のごみ集積施設でごみを回収するシステムについての協議を行った。

◇11月21日(第5回)

<報告事項>

1 第4回(10/8)委員会の未回答事項の整理について

市内の紙おむつの排出量とリサイクルの実施への方向性についての報告があった。

<協議事項>

1 ごみ減量化対策について

事業系ごみや汚泥等の減量化への施策について、取り組めることから進めていくが、減量化にきわめて有効な手段としてのごみ有料化の導入についての議論も並行して行っていくこととした。

2 資源ごみ・不燃ごみの収集方式について

収集方式のメリット・デメリット、トータルコストを考慮した上で、可燃ごみは現状どおりとし、容器包装プラスチックやその他の資源ごみを週1回ステーションで回収を行う方式が最適であるとした。

◇10月23日(第5回)

<報告事項>

1 袋井市教育情報化推進計画の概要について

第2次ICT推進計画を基に、平成27年度に策定されたものを再度共有化した。

<協議事項>

1 ICT推進計画及び教育情報化推進計画の課題整理について

第3次ICT推進計画は、全般について概要を確認、共有し、今後のテーマの設定・調査研究につなげていくために課題を整理した。教育情報化推進計画における課題は、費用と人材であった。

2 全議員を対象とした研修会の開催について

1月7日に研修会を開催していくことが決定した。

◇12月12日(第6回)

<報告事項>

1 袋井市教育情報化推進計画に係る質問について

2 ICT推進計画及び教育情報化推進計画の課題整理について

第3次ICT推進計画は、全般について概要を確認・共有し、今後のテーマの設定・調査研究につなげていくために課題を整理した。

3 ICTに係る次年度の取り組みについて

令和2年度ICT施策重点取り組み(案)の状況報告があった。

◇1月7日 ICT研修会「ICTのさらなる進化～AI・RPA時代の到来」を開催

講師:早稲田大学 政治経済学術院 稲継裕昭教授